

逗子市風致地区条例施行規則 様式一覧

様式	関係条例	名 称
第1号	第2条	風致地区内行為（行為変更）許可申請書
第2号	第2条	建築物計画書
第3号	第2条	建築物その他の工作物の色彩の変更計画書
第4号	第2条	工作物計画書（建築物を除く。）
第5号	第2条	土地の形質の変更計画書
第6号	第2条	水面埋立（干拓）計画書
第7号	第2条	木竹伐採計画書
第8号	第2条	土石類採取計画書
第9号	第2条	屋外における物件のたい積計画書
第10号	第3条	風致地区内行為届出書
第11号	第4条	風致地区内行為着手（完了）届
第12号	第4条	風致地区内行為中止届
第13号	第6条	風致地区内行為許可承継届
第14号	第6条	風致地区内行為許可承継承認申請書
第15号	第7条	風致地区内行為許可標
第16号	第9条	住所（氏名）移動届

※本冊子は主な様式を抜粋し、記載例を示して綴っています。

※各様式は緑政課のホームページからダウンロードできます。

※提出部数は正副各1部をお願いします。

第1号様式（第2条関係）

風致地区内行為（行為変更）許可申請書

年 月 日

逗子市長

申請者 住所
氏名 ㊟
電話番号
代理人 住所
氏名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり風致地区内における行為（行為の変更）の許可を受けたいので、申請します。

風致地区の名称及び種類		
行為の種類		
行為地		
行為の期間	着手予定年月日	年 月 日
	完了予定年月日	年 月 日
工事施行者の住所及び氏名	電話番号	
行為変更の許可申請の場合は、当初許可の年月日、許可番号、変更の内容及びその理由		
その他		

備考

- 1 その他の欄には、宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号）、都市計画法（昭和43年法律第100号）その他の法令の規定による届出、申請等の有無等を記入してください。
- 2 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

記載例

第1号様式（第2条関係）

風致地区内行為（行為変更）許可申請書

年 月 日

逗子市長

申請者 住 所 逗子市逗子〇-〇-〇
氏 名 249-8686 ㊞
電話番号 873-1111
代理人 住 所 〇〇県〇〇市〇〇〇-〇
氏 名 〇 〇 〇 〇 ㊞
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇

代理人の場合は委任状が必要

法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名

次のとおり風致地区内における行為（行為の変更）の許可を受けたいので、申請します。

風致地区の名称及び種類	披露山・逗子海岸風致地区（第〇種）		
行為の種類	※記載例： 専用住宅の新築		
行為地	※記載例： 逗子市新宿〇丁目〇〇番地〇〇		
行為の期間	着手予定年月日	年	月 日
	完了予定年月日	年	月 日
工事施行者の住所及び氏名	電話番号		
行為変更の許可申請の場合は、当初許可の年月日、許可番号、変更の内容及びその理由			
その他	※記載例： 宅地造成等規制法の申請等有り		

許可日からでも可

備考

- 1 その他の欄には、宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号）、都市計画法（昭和43年法律第100号）その他の法令の規定による届出、申請等の有無等を記入してください。
- 2 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

第2号様式（第2条関係）

建築物計画書

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()			
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地			
土地の形質の変更の有無	無・有 (有る場合は、別に土地の形質の変更計画書(第5号様式)を添付してください。)			
建築物その他の工作物の色彩の変更の有無	無・有 (有る場合は、別に建築物その他の工作物の色彩の変更計画書(第3号様式)を添付してください。)			
工事種別	(1) 新築 (2) 増築 (3) 改築 (4) 移転			
工種種別	(1) 地上 (2) 地下 (3) 仮設			
仮設の場合の設置期間				
既存建築物の高さ、床面積及び構造				
用途				
建築物が地面と接する位置の高低差	メートル			
構造等	構造			
	高さ	地上	メートル	階数 地上 階
敷地面積	平方メートル			
建築面積	今回申請建築面積	平方メートル	既存建築面積	平方メートル
	合計床面積 平方メートル			
建ぺい率	建築物面積/敷地面積×100		%	
壁面から境界までの距離	道路に接する部分	メートル	その他の部分	メートル
	屋根	材質等	色彩	()
建築物の意匠	外壁	仕上げ	色彩	()
	その他	材質等	色彩	()
緑被面積	平方メートル			
敷地内の木竹の有無及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び本数を明記してください。〕				
その他				

備考

- 1 構造等欄のうち、高さについては、地盤面からの高さを記入してください。
- 2 色彩欄の()内にはマンセル値を記載し、新たに建築する部分の色彩判断資料(日本塗料工業会の色見本帳の式番等)を添付してください。

記載例

第2号様式（第2条関係）

建 築 物 計 画 書				
敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他	借地の場合は土地使用承諾書を添付		
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地			
土地の形質の変更の有無	無 (有) (有る場合は、別に土地の形質の変更計画書（第5号様式）を添付してください。)			
建築物その他の工作物の色彩の変更の有無	無 (有) (有る場合は、別に建築物その他の工作物の色彩の変更計画書（第3号様式）を添付してください。)			
工事種別	(1) 新築 (2) 増築 (3) 改築 (4) 移転			
工種種別	(1) 地上 (2) 地下 (3) 仮設			
仮設の場合の設置期間				
既存建築物の高さ、床面積及び構造				
用途	※記載例： 一戸建て専用住宅			
建築物が地面と接する位置の高低差	メートル			
構造	造			
高さ	地上	メートル	求積図及び求積表を添付	
敷地面積	平方メートル			
建築面積	今回申請建築面積	平方メートル	既存建築面積	平方メートル
合計床面積	平方メートル			
建ぺい率	壁面後退で一番狭いところの有効距離			%
壁面から境界までの距離	道路に接する部分	メートル	その他の部分	メートル
建築物の意匠	外	輝度の高いものは避ける		
	その他	材質等	色彩	()
		(社)日本塗料工業会の色見本帳の色番等を記入（マンセル値）		
緑被面積	平方メートル			
敷地内の木竹の有無及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び本数を明記してください。〕	植栽計画に基づく緑地の面積			
その他	木竹の伐採があるときには別に木竹伐採計画書を添付			

備考

- 1 構造等欄のうち、高さについては、地盤面からの高さを記入してください。
- 2 色彩欄の()内にはマンセル値を記載し、新たに建築する部分の色彩判断資料（日本塗料工業会の色見本帳の式番等）を添付してください。

第3号様式（第2条関係）

建築物その他の工作物の色彩の変更計画書

色彩を変更する建築物 その他の工作物の種類			
色彩を変更する建築物 その他の工作物の 規模及び構造			
色彩を変更する部分	高さ	地上	メートル
	面積		平方メートル
現在の色彩	()		
変更後の色彩	()		
変更するために用いる 材料又は塗料の種類			
そ の 他			

備考

- 1 複数の色彩の変更がある場合には、変更部分ごとの色彩を記載してください。
- 2 () 内には、マンセル値を記載してください。
- 3 現況写真及び変更予定の色彩判断資料（日本塗料工業会の色見本帳の式番等）を添付してください。

第4号様式（第2条関係）

工作物計画書（建築物を除く。）

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()
敷地の形状	(1) 自然地 (2) 造成地 (3) 水面の埋立地 (4) 干拓地
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地
現況の概要 〔現況傾斜の有無、周辺の 地盤との関係（高低その他）〕	
敷地面積	平方メートル
用途	
工事種別	(1) 新築 (2) 増築 (3) 改築 (4) 移転
工種種別	(1) 地上 (2) 仮設
構造	
規模	
色彩	()
仮設物の設置期間	
跡地の処理方法	
敷地内の木竹の有無 及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び 本数を明記してください。〕	
その他	

備考 色彩欄の () 内には、マンセル値を記載し、新たに建築する部分の色彩判断資料（日本塗料工業会の色見本帳の式番等）を添付してください。

記載例

第4号様式（第2条関係）

工作物計画書（建築物を除く。）

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()
敷地の形状	(1) 自然地 (2) 造成地 (3) 水面の埋立地 (4) 干拓地 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">借地の場合は土地使用承諾書を添付</div>
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地
現況の概要 〔現況傾斜の有無、周辺の 地盤との関係（高低その他）〕	※記載例 傾斜なし 北側通路 -0.56m 東側通路 +0.26m 南側隣地 +1.00m 西側通路 -0.38m
敷地面積	平方メートル <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">求積図及び求積表を添付</div>
用途	
工事種別	(1) 新築 (2) 増築 (3) 改築 (4) 移転
工種種別	(1) 地上 (2) 仮設
構造	
規模	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">高さ、長さ、奥行等</div>
色彩	()
仮設物の設置期間	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">輝度の高いものは避ける</div>
跡地の処理方法	
敷地内の木竹の有無 及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び 本数を明記してください。〕	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">(社)日本塗料工業会の色見本帳の色番等を記入（マンセル値）</div>
その他	

備考 色彩欄の () 内には、マンセル値を記載し、新たに建築する部分の色彩判断資料（日本塗料工業会の色見本帳の式番等）を添付してください。

第5号様式（第2条関係）

土地の形質の変更計画書

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()					
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地					
現況の概要 〔現況傾斜の有無、周辺の 地盤との関係（高低その他）〕						
用途						
面積	敷地面積(a)	平方メートル		行為面積	平方メートル	
緑地率 〔行為後に敷地内に存在する 緑地の割合〕	木竹を保全する面積(b)	平方メートル		適切な植栽を行う面積(c)	平方メートル	
	$((b) + (c)) / (a) \times 100$			%		
行為内容 (切土、盛土の別)	総土工量	立方メートル		切土量	立方メートル	
				盛土量	立方メートル	
生じるのり面の最高高	切土のり高	メートル	盛土のり高	メートル	勾配	/
残土処理の方法及び搬出先						
跡地の処理方法						
敷地内の木竹の有無及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び本数を明記してください。〕						
その他						

記載例

第5号様式（第2条関係）

土地の形質の変更計画書

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()			
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地			
現況の概要 (現況傾斜の有無、周辺の地盤との関係(高低その他))	※記載例 傾斜なし 北側通路 -0.56m 東側通路 +0.26m 南側隣地 +1.00m 西側通路 -0.38m			
用途	求積図及び求積表を添付			
面積	敷地面積(a)	平方メートル	行為面積	平方メートル
緑地率 (行為後に敷地内に存在する緑地の割合)	木竹を保全する面積(b)	平方メートル	適切な植栽を行う面積(c)	平方メートル
	(b)+(c) 土工量等がわかる土量計算者(式)を添付			%
行為内容 (切土、盛土の別)	総土工量	立方メートル	切土量	立方メートル
			盛土量	立方メートル
生じるのり面の最高高のり高	横断面図により確認できること			配 /
残土処理の方法及び搬出先	方法等、適切な処理方法等の内容を必ず記載			
跡地の処理方法	※記載例： 宅地として利用			
敷地内の木竹の有無及びその処理方法 (木竹の種類、樹齢及び本数を明記してください。)	宅地の造成等を伴う場合は植栽計画を添付 建築時に対応する場合には覚書等の提出が必要			
その他				

第6号様式（第2条関係）

水面埋立（干拓）計画書

行為地の種別	(1) 池沼 (2) ため池 (3) その他 ()
行為地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地
周囲の現況	
埋立て（干拓）面積	平方メートル
施行の目的	
施行方法	
跡地の処理方法	
その他	

第7号様式（第2条関係）

木 竹 伐 採 計 画 書

行 為 地 の 地 目	(1) 山林 (2) 宅地 (3) 原野 (4) その他 ()						
敷 地 の 所 有 別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地						
現 況 の 概 要	林 種				林 相		
	樹 齡 林 齡			疎 密 度			隣 接 地 の 現 況
行 為 の 目 的							
伐 採 面 積	平方メートル						
伐 採 方 法 (皆伐、択伐、間伐、除伐の別)					択伐率		
伐 採 樹 種							
伐 採 木 及 び 主 要 伐 採 林 の 形 質	樹 齡	約 年		樹 高	メートル		
	1.5メートル の 高 さ の 幹 の 周 囲	メートル		数 量			
跡 地 の 処 理 方 法							
そ の 他							

備考

- 1 林種の欄には、人工林、天然林等の区分を記載してください。
- 2 林相の欄には、森林の形態、様相（樹種、高木、低木等の区分）を記載してください。

記載例

第7号様式（第2条関係）

木 竹 伐 採 計 画 書

行為地の地目	借地の場合土地使用承諾書を添付					
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地					
現況の概要	林種	※記載例 人工林・天然林等		林相	広葉樹林・針葉樹林・針広混合林のいずれか記載	
	樹齢 林齢	年数を記載	疎密度	疎・密を記載	隣接地の現況	山林・更地等を記載
行為の目的	※記載例 宅地造成					
伐採面積	平方メートル					
伐採方法 (皆伐、択伐、間伐、除伐の別)	※記載例 皆伐			択伐率		
伐採樹種						
伐採木及び主要伐採林の形質	樹齢	約	年	樹高	メートル	
	1.5メートルの高さの幹の周囲		メートル	数量		
跡地の処理方法	※記載例 宅地として利用					
その他						

備考

- 1 林種の欄には、人工林、天然林等の区分を記載してください。
- 2 林相の欄には、森林の形態、様相（樹種、高木、低木等の区分）を記載してください。

第8号様式（第2条関係）

土石類採取計画書

行為地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()
行為地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地
現況の概要 〔現況傾斜の有無、 周辺の地盤との関係 (高低その他)〕	
採取の目的	
採取面積	平方メートル
採取土石類の種類	
採取方法	
運搬方法	
採取量	立方メートル
跡地の処理方法	
敷地内の木竹の有無及び その処理方法 〔木竹の種類、樹齢及 び本数を明記してく ださい。〕	
その他	

備考 その他の欄には、埋戻しのために必要な土砂等の採取場所その他必要な事項を記入してください。

第9号様式（第2条関係）

屋外における物件のたい積計画書

敷地の地目	(1) 田 (2) 畑 (3) 山林 (4) 宅地 (5) 原野 (6) その他 ()
敷地の形状	(1) 自然地 (2) 造成地 (3) 水面の埋立地 (4) 干拓地
敷地の所有別	(1) 自己所有地 (2) 借地 (3) 公有地
敷地内の建築物の有無	(1) 有 (延べ床面積 m ²) (2) 無
現況の概要 〔現況傾斜の有無、 周辺の地盤との関係 (高低その他)〕	
敷地の面積	平方メートル
たい積の目的	
たい積物の種類	(1) 土石 (2) 廃棄物 (3) 再生資源 (4) その他 ()
たい積物の具体内容	
容器の使用の有無	(1) 有 () (2) 無
色彩 (土石を除く。)	
たい積の面積	平方メートル
たい積の最高高	メートル
遮へい物の有無	(1) 有 () (2) 無 (設置予定 ① 有 () ② 無)
敷地内の木竹の有無及びその処理方法 〔木竹の種類、樹齢及び本数を明記してください〕	
その他	

第10号様式（第3条関係）

風致地区内行為届出書

年 月 日

逗子市長

申請者 住 所
氏 名 ㊟
電話番号
代理人 住 所
氏 名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

風致地区が指定された際又は条例が施行された際現に行っていた行為について、次のとおり届け出ます。

風 致 地 区 の 名 称 及 び 種 類		
行 為 の 種 類		
行 為 地		
行 為 の 期 間	着 手 年 月 日	年 月 日
	完 了 予 定 年 月 日	年 月 日
工 事 施 行 者 の 住 所 及 び 氏 名		(電 話)
そ の 他		

備考

- 1 その他の欄には、宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号）、都市計画法（昭和43年法律第100号）その他の法令の規定による届出、申請等の有無等を記入してください。
- 2 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

第11号様式（第4条関係）

風致地区内行為着手（完了）届

年 月 日

返子市長

届出者 住 所
氏 名 ㊟
電話番号
代理人 住 所
氏 名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

風致地区内における行為（行為の変更）の許可を受けた行為等の着手（完了）について、次のとおり届け出ます。

許可の年月日及び許可番号	年 月 日 第 号
許可を受けた行為の種類	
行 為 地	
行 為 の 許 可 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
許 可 に 付 さ れ た 条 件	
工事着手（完了）年月日	年 月 日
そ の 他	

備考

- 1 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
- 2 完成写真及び市長が必要があると認める図書を添付してください。

第12号様式（第4条関係）

風致地区内行為中止届

年 月 日

逗子市長

届出者 住 所
氏 名 ㊟
電話番号
代理人 住 所
氏 名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり風致地区内における行為（行為の変更）を中止しましたので、届け出ます。

許可の年月日及び許可番号	年 月 日 第 号
許可を受けた行為の種類	
行 為 地	
行 為 中 止 年 月 日	年 月 日
行 為 の 中 止 の 理 由	
中 止 時 の 現 況	
原 状 回 復 等 の 概 要	
そ の 他	

備考

- 1 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
- 2 現況写真及び市長が必要があると認める図書を添付してください。

第13号様式（第6条関係）

風致地区内行為許可承継届

年 月 日

逗子市長

届出者 住 所
氏 名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したので、届け出ます。

承継に係る許可の年月日 及 び 許 可 番 号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の住所及び 氏名（法人にあつては、主た る事務所の所在地、名称 及び代表者の氏名）	
許可に係る行為の種類	
行 為 地	
承 継 年 月 日	年 月 日
承 継 の 原 因	
そ の 他	

備考 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

第14号様式（第6条関係）

風致地区内行為許可承継承認申請書

年 月 日

逗子市長

申請者 住 所
氏 名 ㊟
電話番号
代理人 住 所
氏 名 ㊟
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したいので、申請します。

承認に係る許可の年月日 及び許可番号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の住所及び 氏名(法人にあつては、主たる 事務所の所在地、名称 及び代表者の氏名)	
許可に係る行為の種類	
承継申請の理由となる事実	
上記事実の発生日	年 月 日
許可に係る行為及び 行為地の現況	
許可に付された条件	

備考

- 1 許可に係る許可書及び申請書類の写しを添えてください。
- 2 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

第16号様式（第9条関係）

住 所 （ 氏 名 ） 異 動 届

年 月 日

逗子市長

届出者 住 所
氏 名
電話番号

㊟

〔 法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名 〕

次のとおり住所（氏名）に異動が生じたので、届け出ます。

許可（地位の承継承認）の年月 日及び許可（承認）番号	年 月 日 第 号
許可に係る行為の種類	
行 為 地	
新 住 所 （ 氏 名 ） 〔 法人にあつては、主たる 事務所の所在地、名称及 び代表者の氏名 〕	
旧 住 所 （ 氏 名 ） 〔 法人にあつては、主たる 事務所の所在地、名称及 び代表者の氏名 〕	
そ の 他	

備考 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

第17号様式（第10条関係）

（表）

第	号
身 分 証 明 書	
所 属	
職	
氏 名	
年 月 日生	
上記の者は、逗子市風致地区条例第12条第2項の規定により立入調査及び立入検査をすることができる者であることを証明する。	
年 月 日	
逗子市長	
印	

（裏）

逗子市風致地区条例（抜粋）

第12条（省略）

2 市長は、第2条第1項、第8条第2項又は前条第1項の規定による権限を行うため必要があると認めるときは、その必要な限度において、当該職員をして風致地区内の土地に立ち入り、その状況を調査させ、又は第2条第1項各号に掲げる行為の実施状況を検査させることができる。

3 前項に規定する職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人の請求があったときは、これを提示しなければならない。

4 第2項の規定による立入調査又は立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

（規格 縦6センチメートル 横8センチメートル）